

## 101 講座 日本とアジアの世界遺産・古代史の謎—美しい世界文化遺産に秘められた光と影

開催日 金曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/6(金)



講師：市川 昌

江戸川大学名誉教授  
日本生涯教育学会会員  
日本メディア学会（前日本マス・コミュニケーション学会）会員

世界遺産条約は1972年の国連ユネスコ総会で採択され、「地球と人類が生み出した貴重な歴史的遺産を戦争や天災などから守り、未来に伝えることを目的とする」として制定されました。現在の日本の世界遺産登録数は、文化遺産が20。自然遺産が5で、総数25で世界11位です。この講座は日本と、隣接している東アジアの韓国や中国との世界文化遺産を取り上げ、古代の大陸と渡来民との交流や隣国の百済、新羅、秦と唐との関係を考えます。縄文時代から奈良・京都に連なる世界遺産は、倭の国から古代日本への歩みと、東アジアの諸国との相互作用と断絶の歴史を学ぶ場です。世界遺産の美しい風景や遺物を訪ねて、歴史的な背景の光と影を考えましょう。

- 第1回 10月13日 ◇東北の縄文遺跡と北の狩人
- 第2回 10月20日 ◇飛鳥法隆寺と唐招提寺とアジアとの交流
- 第3回 10月27日 ◇百済と新羅の古都興亡史
- 第4回 11月10日 ◇秦の始皇帝陵墓と謎の地下軍団

〔講師プロフィール〕東京教育大学卒業後、NHK 番組制作局に入局しテレビディレクターとして教育・教養番組を制作。「世界の大学」など海外取材とともに、東南アジアおよび中南米諸国で教育番組制作を指導。文部省放送教育開発センター助教授を経て、江戸川大学教授となる。伝統文化や歴史遺跡など映像記録をもとに世界文化遺産や美術史などの資料を調査して、東西文化国際交流の歴史を研究してきた。現在は江戸川大学名誉教授として生涯学習の場で映像資料を活用した講座を各地で実施。現地取材の感動をもとに、世界遺産とアジアの歴史と文化を語りたい。

## 102 講座 日本の民俗芸能—その諸相及び現状と今後への課題

開催日 木曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/12(木)



講師：宇野 正人

江戸川大学名誉教授

民俗芸能は郷土芸能とも称されています。一般に民俗芸能は地域伝統社会に根付いた伝統文化の一種だと考えられています。日本の民俗芸能は祭や行事に付随して伝承されました。それゆえに、民俗芸能は地域伝統社会の歴史や文化を強く反映しています。

日本の近代化が始まって150余年。地域伝統社会は崩壊消滅の一途をたどりました。それに伴い、民俗芸能も消滅、あるいは変容を余儀なくされました。

現在もいまなお伝承継続されている民俗芸能への視角、現状、今後について考えてみたいと思います。YouTube に掲載されている関連動画を参考にしながら講座全体を構成の予定です。

- 第1回 10月19日 ◇民俗芸能の現状と研究史、海外の事情(特に欧州、民族音楽、民族舞踊、国立民族舞踊団)
- 第2回 10月26日 ◇民俗芸能-神楽、能楽等の舞を中心に、楽器(長胴太鼓、締太鼓、銅拍子、笛)にも言及-
- 第3回 11月09日 ◇民俗芸能-田楽、念仏踊り、盆踊り等の踊を中心に、諸芸(歌舞伎、獅子舞、舞楽)にも言及-
- 第4回 11月16日 ◇民俗芸能-民俗芸能の持続と今後への展開、自発的保存と公的機関からの援助にも言及-

〔講師プロフィール〕専門は日本民俗学・宗教学。研究分野は、日本の祭りと近代日本の宗教史。日本全国に存在する祭りの悉皆総合調査、そのデータベース化という大規模な調査研究の立案、実施、完成などを手がけた。他方、全国私立大学共通の「情報基礎教育シラバス」作成に従事し、インターネット、マルチメディア分野を担当。

## 103 講座 新聞とネットで読み解く国際情勢—2024 年は世界政治の岐路-注目の選挙目白押し

開催日 月曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/6(金)



講師：大江 志伸

江戸川大学名誉教授  
読売新聞元論説委員

来年2024年は、世界情勢を左右する重要選挙が年初から年末まで続きます。1月の台湾総統選挙、3月のロシア大統領選挙、4月の韓国総選挙、5月のインド総選挙と目白押しです。中でも11月の米大統領選挙はその後4年間のアメリカと国際政治に重大な影響を及ぼすことは必至です。今回の講座では、各選挙の意義や注目点を整理しながら、世界政治や地域情勢に及ぼす影響を分析していきます。

- 第1回 10月16日 ◇台湾総統選と中国の世界戦略
- 第2回 10月23日 ◇韓国総選挙と南北・日韓関係
- 第3回 10月30日 ◇モディ政権とインドの選択
- 第4回 11月06日 ◇世界を翻弄する米大統領選挙

[講師プロフィール] 1976年4月読売新聞東京本社入社。長野支局、本社編集局地方部、経済部、外報部(現・国際部)勤務のあと、韓国延世大学に社命留学し、韓国ソウル支局長、中国北京支局長(中国総局長を兼務)、タイ・バンコク駐在のアジア総局長として海外報道に長く携わる。帰国後は論説委員として社説、時事コラム、一面コラム「編集手帳」を担当し、この間、膨大な署名記事や著作物を出版。

2006年4月に本学マス・コミュニケーション学科の教授として就任。マスコミ業界への就職を希望する学生に対して、「新聞論」「国際報道論」などの科目を中心に教鞭をとる。現在は、読売新聞社友、BS松竹東急・放送番組審議会委員長としても活動中。

## 104 講座 “清潔・不潔の文化人類学”で人間探検—ごみ、雑草、うんち、ぼさぼさ髪はなぜ汚い？

開催日 月曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 11/6(月)



講師：斗鬼 正一

江戸川大学名誉教授

動物が生きるとは“食べて、出す”こと。だから人間も生きていればごみやうんちが出ます。髪も髭も伸びれば垢も付きます。でもなぜか人間は、それを汚いと掃除し、入浴し、トイレや下水道まで作って消し去ろうとします。爪や髪は切るだけでなくマニキュアしたり決められた髪形にします。他方でその髪に霊性があったり、トイレの神様に美人が生まれるように祈ったり、うんちだらけのガンジスを聖なる川と崇めたりもします。ガーデニングで緑を大切にと言いながら雑草を引き抜きます。

そんな汚いものへの人間の奇妙な行動を文化人類学の目で眺めれば、“人間という人類最大の謎”が解けてきます。「チコちゃんに叱られる!」などテレビでお馴染み“鬼先生”と、身近な日常生活の謎を入口に、知的好奇心全開の“人間探検”をしてみましょう。

- 第1回 11月13日 ◇ごみ・うんち：なぜか汚いけどご神体、トイレに神様という謎
- 第2回 11月20日 ◇風呂：なぜか銭湯に富士山、汚いガンジスが聖なる川という謎
- 第3回 11月27日 ◇髪：なぜか整髪するときれい、ハゲは恥ずかしいけど尊敬という謎
- 第4回 12月04日 ◇雑草：なぜか植物に名を付け、百合も薔薇も汚い雑草という謎

[講師プロフィール] メディアでお馴染み、怖くない“鬼先生”。“楽しくなければ学問じゃない”をモットーに、「チコちゃんに叱られる!」などで人間探検の“楽問”=文化人類学の楽しさを伝え、「NHKニュース」などでエスカレーター片側空け止めようと訴える唯一のエスカレーター文化研究者。江戸川大学名誉教授。元明治大学大学院・文学部兼任講師。

お申込み・お問合せ先：江戸川大学駒木学習センター

04-7156-7715(平日9時～17時)  
stcenter@edogawa-u.ac.jp



Web 申込み  
はこちらから

## 105 講座 新・国立公園シリーズ「国立公園の風景」 —そのさまざまな見方

開催日 【講義】火曜日 14:00～15:30/ 【現地ツアー】水曜日 回数 全2回 受講料 3,000円 定員 20名

お申込み締切日 10/10(火)



日本を代表する優れた風景を持つ場所が国立公園として指定されているのですが、風景はさまざまな見方ができるものであり、「風景は主観である」という言い方さえできます。今回は国立公園で描かれ、撮影された絵画や写真を通して、また外国人等が惹かれた風景にも注目し、[風景]について考えてみます。現地ツアーでは、日光国立公園・奥日光を訪れ、実際の風景をいろいろな角度から見てみましょう。

今回は紅葉の見ごろを迎えた中禅寺湖畔を中心に歩く予定です。

第1回◇10月17日【講義】国立公園の風景—そのさまざまな見方

第2回◇10月25日【現地ツアー】日光国立公園・中禅寺湖の風景を見る

### 受講条件

※現地ツアーを含む内容となっておりますので、軽いハイキングの出来る健康な方が対象です。  
※現地ツアーは雨天でも行います。ただし、荒天の場合は、中止といたしますのでご了承ください。  
※講義だけのご受講も可能です。(現地ツアーのみのご受講はできません) お申込み時にお知らせください。  
※現地ツアーは東武日光駅にて、現地集合・現地解散を予定しています。  
※現地ツアーは受講料の他に6,000円程度の経費(バス代、昼食代、保険料等)と日光までの往復交通費が必要です。詳細は講義回にてご案内いたします。  
※新型コロナウイルス感染症の流行等、社会情勢により中止となる場合がございます。予めご了承ください。  
※発熱等の風邪症状がある方はご参加ご遠慮願います。

講師：宮地 信良  
江戸川大学国立公園  
研究所客員研究員・  
ネイチャーガイド

## 106 講座 基礎文法がわかる初めての韓国語

開催日 木曜日 10:00～11:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 11/22(水)



講師：趙 昭暎  
韓国語講師

この講座は韓国語を初めて学ぶ方を対象にしています。

韓国語の文法を学ぶとき、自分が伝えたい内容に合わせて言葉の形を変化させることを表す「活用」が必要となってきます。ここでは、その基礎的用言(動詞、形容詞など)活用について学び、簡単な文章を作る事を目標としています。ご受講いただくことで、日常会話に必要な基礎用言と基本文法を理解し、韓国語の勉強の土台をつくることができます。一緒に韓国語の基礎を学んでみましょう。

第1回 11月30日 ◇現在形:～です。/～ます。

第2回 12月07日 ◇過去形:～でした。/～ました。

第3回 12月14日 ◇未来形:～つもりです。/～でしょう。

第4回 12月21日 ◇語尾の3タイプを理解する

[講師プロフィール] 麗澤大学大学院日本語教育学専攻卒業。韓国語教員免許2級(韓国慶熙大学にて取得)。韓国サムソン電機外国人社員研修担当(韓国語講師)。

### 江戸川大学へのアクセス

◆つくばエクスプレス線、東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」東口バスターミナルより、無料スクールバスをご利用いただけます。

◆スクールバスの運行予定は大学 Web ページでご確認ください。

<https://www.edogawa-u.ac.jp/koutuu/>

